

【学校教育目標】

◎かしこい子 ◎やさしい子 ◎たくましい子

「自分で考え、判断し、行動できる、心豊かでたくましい児童の育成」

【目指す児童像】

- ◎ かしこい子
 - ・進んで学ぶ子
 - ・本をたくさん読む子
 - ・よく考える子
- ◎ やさしい子
 - ・思いやりのある子
 - ・進んで協力する子
 - ・礼儀正しい子
- ◎ たくましい子
 - ・進んで運動する子
 - ・生命を大切にする子
 - ・ねばり強くやりとげる子

【目指す学校像】

- ◎ 笑顔あふれる学校
 - ・児童一人一人が夢を持ち、自己実現できる学校。
 - ・児童・保護者・教師が互いに認め合い生きる学校。
 - ・安心・安全な学校

【学校教育目標を達成するための教師像】

- ◎意欲と情熱を持つ教師
 - ・児童一人一人を考え、情熱と使命感を持って指導できる教師。
 - ・専門職としての誇りを持ち生涯学び続ける教師。
 - ・調和と協調を大切にし、個性を創造的に発揮する教師。

【学校経営方針】

- ◎学校教育目標の具現化に努め、その達成を目指す。
 - ・教職員の創意工夫を生かし、保護者・地域社会に開かれた、信頼される学校づくりに努める。また、コミュニティ・スクールを推進し、地域を巻き込んだ笑顔あふれる学校を具現化する。
 - ・児童一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育に努める。
 - ・ノーマライゼーションの理念に基づく教育を鑑み、インクルーシブ教育を推進する。
 - ・校内研修の充実と教師の指導力の向上に努める。
 - ・教職員の働き方改革を進めるとともに、一か月あたりの時間外在校時間を30時間以内にするよう努力する。

【学校教育目標具現化のための本年度の方針】

◎「かしこい子」

- ・主体的・対話的で深い学びを通じた「確かな学力」の育成はもちろん、『個別最適な学び』『協働的な学び』を実現するよう指導方法を不断に見直す。
- ・児童が「学びたい」と思う授業を創造するとともに、課題のある子どもへの学習支援を実施する。
- ・家庭と連携し学校教育への理解を求める。
- ・総合的な学習の時間を基軸に、探求的な学習を推進する。

◎「やさしい子」

- ・思いやりのある子、進んで協力する子の育成は、我々教師が児童に向き合う姿勢が大切である。児童や保護者との信頼関係を深め、「決して見放さない」というスタンスで、粘り強く指導に当たる。
- ・生活規範の醸成するために、学校と保護者が児童を真ん中に据えて、お互いができることを明確にし、児童を育てていく。

◎「たくましい子」

- ・体力の向上の育成は、前年度の新体力テストの結果分析から、課題を明確にし、授業・休み時間の遊び等、具体的に取り組む。体力を少しでも向上させ、心身ともに「たくましい子」を育成する。また、家庭との連絡を通じ、心と身体の健康を大切にする体制を整える。

【コミュニティ・スクールの充実のために】

コミュニティ・スクールとしての在り方を研究し、教育環境の整備に努め朝霞第四小学校の教育を充実させる。

さらにコミュニティ・スクールでは、運営協議委員や地域の方々からの意見を大切にし、これまでの取り組みを見直し、本校の教育活動の改善に努める。特に児童にとって体験的な学習を充実させるため、保護者、PTA、地域の教育力を活用した教育を実践する。外部の教育力をお借りし、その取り組みと成果を外部・社会へ発信することにより、朝霞第四小学校の教育をさらに深化できるように努める。また、運営協議会からの提案を積極的に受け入れるよう働きかけていく。

- ① 広く教育活動を公開し、保護者や地域、社会に学校を理解していただく。その中で得た評価を活かし、同時に多くの協力者を募り活用する。
- ② 教育環境の特性を活かす。現在の施設設備と立地を有効活用し、教育内容の充実を図る。
- ③ 衛生管理（手洗い・うがい・顔洗い）の徹底と施設設備の美化、安全管理（交通状況の把握、指導等）への配慮を行う。
- ④ 社会人講師や地域、外部の教育力をより活用する。道徳・各教科や諸活動において積極的に活用する。学校応援団もその一つとして連携を強化する。

- 憲法、教育基本法、学校教育法
- 学習指導要領
- 埼玉県教育大綱・埼玉県教育振興基本計画
- 埼玉県小中学校教育課程編成要領
- 彩の国教育改革アクションプラン
- 埼玉県指導の重点・努力点
- 朝霞市教育振興基本計画

令和8年度 **学校教育目標** 朝霞市立朝霞第四小学校
— かしこい子 やさしい子 たくましい子 —

目指す児童像
<知> かしこい子 <徳> やさしい子 <体> たくましい子
自分で考え判断し行動できる、心豊かなたくましい児童の育成
 <知・徳・体のバランスのとれた児童の育成> <道徳的な判断力、実践的態度を身に付けた児童の育成>

- 保護者、地域の方の願い
- 時代の要請 ・ 社会の変化
- 地域の実態
- 児童・学校の実態
- 前年度学校評価、学校関係者評価
- 各種学力調査、体力調査
- 学校生活アンケート
- 説明責任と情報開示

目指す学校像 笑顔あふれる学校
 ○児童一人一人が夢を持ち自己実現できる学校
 ○児童・保護者・教師が互いに認め合い生きる学校
 ○安心・安全な学校

学校経営の基本方針
考える場を与え、判断力を育成し、実践させる学校 ～心豊かでたくましい子の育成～

- 1 一人一人の児童に確かな居場所を与え、それぞれのよさを発揮させ、自己実現できる学校を目指します。
- 2 学力向上を図ります。(授業時数の確保をし、補充学習を確実に実施しながら知識・技能を習得させるとともに活用する力を育てます)
- 3 よりよい人間関係を構築できる児童を育てます。(支え合い、助け合い、励まし合い、共に生きる姿勢を育てます)
- 4 規律を守る学校を作ります。
- 5 目標を持たせ、目標に向かって努力できる児童を育てます。(やりぬく喜び、達成感、成就感を体験させます)
- 6 児童、保護者、地域に信頼される学校をつくりまします。(学校評価を活用し情報発信しながら連携していきます)
- 7 いざというときに自分で正しく「動ける職員」「自分の身を守ることでできる児童」を目指します。(危機管理)

目指す教師像
 ○児童一人一人を考え、情熱と使命感をもって指導できる教師
 ○専門職としての誇りを持ち生涯学び続ける教師
 ○調和と協調を大切にし、個性を創造的に発揮する教師

本年度の重点と努力点

1 学力向上のための授業時数確保および 確かな学力の育成：個別最適な学び・協働的な学びの実現

◎「教育に関する3つの達成目標」の「学力」の定着⇒**しっかり、じっくり、何度でも**

- はなまるタイム(朝)の実施
- 日々の授業の充実(教える・書く・意見発表)
- 朝読書(読み聞かせ)
- 家庭学習でも**しっかり・じっくり・何度でも**

◎「児童一人一人の可能性を引き出す工夫」

- 主体的、対話的な学習の充実
- 個別最適な学びの場の設定
- 協働的な学び、問題解決的な学習の充実
- 総合的な学習の時間を基軸に探求的な学習に努める。

2 体力の向上と道徳性の向上：「豊かな心」と「健やかな体」の育成

◎豊かな心の醸成と健やかな体づくり

- あいさつ、返事、ありがとう、ごめんなさい
- 丁寧な言葉づかい、整理整頓、学習用具の準備、**清掃の徹底**
- 体力課題の解決(体力作り運動の推進)
- 早寝早起き朝ごはん
- 家庭との連携強化

◎特別支援教育の視点を持った授業展開

- 考え議論する道徳
- いじめ防止の取組
- 体育授業の充実
- 自己健康管理能力の育成
- 自己肯定感の醸成
- 社会性の育成

◎道徳教育と他の教育活動のリンク

- 児童会活動、縦割り班活動活用
- 体力向上

3 開かれた学校づくり

- ◎地域との連携・・・コミュニティスクール運営の充実 ・HPの内容充実 ・教育活動の協力依頼 ・防災教育(防災フェスティバル開催)
- ◎家庭との連携・・・保護者支援(学校応援団の活用・PTAとの連携)
- ◎幼保小中との連携・・・幼保相互連携(生活科) ・学校説明会の充実 ・朝霞第一中学校との連携強化(生徒指導十学力)

4 安心・安全な学校づくり

- ◎防犯・交通安全への取組・・・交通指導員、見守りボランティアとの連携 ・自分の身は自分で守る力の育成 ・周辺企業との連携
- ◎施設・設備事故の防止・・・定期、臨時の安全点検 ・危険個所の早期発見と対応 ・危機回避能力の育成
- ◎災害時の対応・・・各種マニュアル、訓練の見直し ・災害時の対応(※避難所開設) ・関係機関との連携 ・メール配信

5 きれいな学校づくり

- ◎清掃活動・・・無言清掃の励行 ・除草集会の充実
- ◎掲示活動・・・学校の教育活動が分かる掲示の内容充実 ・学びのコーナーの充実 ・ユニバーサルデザインの視点
- ◎緑化活動・・・栽培活動の取組(学校ファーム等) ・花いっぱい運動(栽培委員会と学校応援団との連携)

6 教職員の資質・能力の向上と風通しがよく、居甲斐・やり甲斐・働き甲斐のある職場づくり

- ◎学校課題研修の取組の充実・・・個別最適な学び、協働的な学びの実現(朝四小スタイルの構築) インクルーシブ教育、タブレットの有効活用法の研究
- ◎若手教職員の育成・・・若手教員、臨任教員の研修の充実 ・授業力向上研修の実施 ・OJTの開催 ・教室訪問と授業参観の実施
- ◎ライフステージに応じた教職員の資質の向上・・・年次に応じた研修の推奨 ・示範授業等を通じた授業力向上研修 ・各主任を講師とする研修の実施
- ◎チーム力の向上と参画意欲の醸成・・・企画委員会の充実 ・主任、副主任連携 ・学年、ブロック、分掌の仕事の見直しとシェア ・ミドルリーダーの育成
- ◎教職員の不祥事防止・・・倫理確立委員会の充実(※対岸の火事とししない取組) ・教職への誇りを高める取組 ・風通しのよい職場づくり
- ◎教員の働き方改革・・・勤務時間の把握、カエル宣言(退勤時刻宣言) ・1か月あたりの時間外在校時間を30時間以内にするように努力する。